

## 熊本高専・清田教授の研究チーム開発

タブレット端末に表示した文章を指でなぞり、音声で読み上げるアプリを熊本高専人間情報システム工学科の清田公保教授(61)の研究

究チームが開発し、無料で提供している。目が不自由な人や点字が使えない人の生活の質向上を目指す。

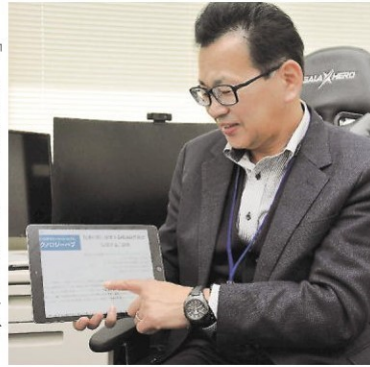
アプリは「Touch Talker(タッチトーカー)」。東京のIT企業ボトスと共同開発した。端末にダウンロードしたPDF形式の文書を指でなぞると、その部分を音声で読み上げる。単語の途中をなぞっても区切りを認識し、意味が通るように読む。

従来の読み上げソフトは文章を最初から読むため、選んだ部分だけ聞くことはできなかった。清田教授は「アプリでは斜め読みが可能で、効率的に読むことができる」と利点を話す。

2018年に特許を取得した。熊本県内の視覚障害者らに体験してもらい、今年4月に実用化した。アプリ市場「アップストア」で無料ダウンロードできる。清田教授は「現在はタブレット版のみだが、今後はスマートフォンアプリや、機能を強化した有料版を開発したい」と話している。

(丸山伸太郎)

# 「タッチ部分の文章音読」アプリ無料提供



「Touch Talker」を開発した熊本高専の清田公保教授  
25日、合志市

指でなぞった部分を音読するアプリ「Touch Talker」の画面